



学 校 だ よ り

杉並区立宮前中学校

令和7年9月5日(No.5)

2 学期始業式より

校長 仙浪 辰郎

皆さんおはようございます。長い夏休みが終わりました。皆さんの夏休みはどうだったでしょうか？35度以上の猛暑日が続く日も続き、本当に暑い夏休みでした。また気温の上昇とともに熱中症や水の事故が相次ぎ、ニュースを聞くたびに心が痛みました。特に中学生と聞くと毎回ドキッとさせられました。本校では今のところ大きな事件や事故等の報告は受けていませんので、皆さんの元気な姿を見ることができ、うれしく思います。

さて、この夏休み中、気になったニュースを1つ紹介します。皆さんも耳にしているかもしれませんが、愛知県豊明市の市長が、ある条例案を議会に提出しました。その内容は「余暇時間」に使用するスマホ・パソコン・タブレットを1日2時間までとし、中学生は午後10時以降は使用しない、というものでした。仕事や学習での使用は別として、条例違反に対する罰則等はないとのことでした。

皆さんはこの条例案をどう考えますか？様々なアプリやコンテンツなどスマホが便利なものであることは誰も否定しないでしょう。しかし、長時間使用による睡眠不足や健康被害、幼児期使用からの発達障害等、多くの問題点を抱えていることも事実です。例えばこの条例で1日1時間の短縮効果があったとしたら、月30時間、年間360時間の時間が生まれます。つまり年間で15日分の時間が生まれるわけです。条例の良し悪しは別として、とても大きな時間です。まだ条例案ですので可決されるかどうかはわかりませんが、市民からはすでに多くの苦情が届いているそうです。「市長が自由時間を制限するのはおかしい」とか「個人の契約だから自由なはず」など、厳しい意見がある一方で、「家族で使い方を見直すきっかけになる」などの支持する意見もあるそうです。

私はこのニュースを聞いたときに、宮前中の「自治」や「自主・自律」ということばを思い浮かべました。強制や罰則といった義務ではなく、自らを振り返る機会にしませんか？自分を律する機会にしませんか？というとても魅力的な提案に感じました。条例として可決されなかったとしても、現代のスマホ依存問題に一石を投じ、あらためて目を向けるきっかけになったことと思います。ぜひ皆さんも今の生活そして時間の使い方を振り返るきっかけにしてみてください。

話は変わりますが、この夏休み中、たくさんの生徒が活躍しました。吹奏楽部は東京都吹奏楽コンクールで見事金賞を受賞しました。昨年に続き2年連続です。おめでとうございます。また富士見ヶ丘商店街で路上発表してくれたダンス部のみなさん、暑い中でも本当にすばらしい発表をありがとうございました。さらにオーストラリア・ウィロビー市への派遣留学に参加した2年生木村さんには、今後の体験報告会での発表を楽しみにしています。他にもたくさんの経験や活躍をした人がいると思います。ぜひその貴重な体験を自信に変え、2学期以降の学校生活に生かし、成長につなげてください。

この2学期には、合唱祭をはじめ、各学年様々な行事が予定されています。授業はもちろんですが、各行事に対してもしっかり準備をし、みんなの力ですばらしいものにしてください。期待しています。

最後に、1学期の終業式でも話をしましたが、今現在困っていること、あるいは悩んでいる事がある人は、決して一人で抱え込まずに周りの人に相談したり、助けを求めてください。家族でも友人でも、もちろん担任の先生や話をしやすい誰でも構いません。ぜひ一人で抱え込まずに声をかけてください。

さらにこの2学期から、担任や学年の先生ではなく、校長や副校長に直接話を聞いてほしい、あるいは相談にのってほしいという皆さんのために、校長室前に目安箱を置きました。もちろん直接相談に来て構いませんが、まずは相談内容を紙に書いて投書してください。その投書は毎日確認します。解決の可否は内容によりますが、次の日までに必ず回答します。ただし、匿名だと回答できませんので、忘れずに記名をお願いします。秘密はもちろん厳守します。

では、2学期も元気に学校生活を送りましょう。 終わります。

* 2学期を迎えるにあたり教職員の研修を実施しました

①人権教育研修

8月29日(金)の午後、教育人事・指導課統括指導主事 柿添 剛広様、指導主事 木村 あずみ様を講師として、「教員の人権感覚を磨く」というテーマで講義を行っていただきました。

日頃、何気なく使っている言葉や行っている指導を振り返り、不適切となりうる行為や不用意な言葉などを確認しました。また、個々に演習問題を行い、人権感覚のチェックも行いました。最後に、グループ協議を行い、「連帯責任を課す指導の是非」について議論を交わしました。結論は出ませんでしたが、有意義な時間を共有することができました。

②救命・救急講習

8月29日(金)の午前、救命・救急講習として「心肺蘇生法演習」と「エピペンの使用方法」を行いました。毎年実施している研修ですので、どちらもとてもスムーズな流れでシミュレーション演習が進められました。

心肺蘇生では、第一発見者、119番通報者、胸骨圧迫担当、AED持参等、役割分担を明確にし、救急車到着までを想定した演習を行いました。

エピペン使用法では、生徒役、付き添い役、教員役などを決めシミュレーションし、アクションカードを利用した対応法を行いました。練習用のエピペンで実際に打つ感覚も確認しました。それぞれの演習後に、反省や改善点が確認でき、早速対応しました。

